

# ● 臼杵春芳の漆。

2020年 4月4日.土 — 4月12日.日

作家在廊日 4日5日6日

OPEN 11:00 — 18:00 定休日8日

● 臼杵さんと出会ったのは、30年以上前のこと。親せきの笹倉徹君と、奈良で4人展をやった時の何人かの一人だった。僕は臼杵さんのベンチを買った。その時何人かとの感動的な出会いがあった。当時も辻村史朗さんは人気の陶芸家であり絵描きでもあった。みんな彼に会いたいと言い始めて、僕はその熱意に動かされた。そして急にみんなを彼の家に迷惑もかえりみず連れて行った。僕にとっては良い時代だった。1994年、高岡のクラフト展でグランプリをとり、菜の花のお菓子の試食用にも容器を作ってもらった。それを今でも使っている。臼杵さんが10年位前、東北に本格的に漆掻きを習いに行った。その折に以前買ったベンチに漆を塗りなおしてもらった。それも今回展示しようと思う。5年位前、京都の「Kit」で臼杵さんのお椀を見かけて、初めて宇治の工房を訪ねた。ちょうど長らく居た宇治を離れて、実家のある香川の丸亀へ帰って行く直前だった。丸亀にもどり、自ら漆の木を植え、漆を採り、漆を掻いた残りの木でお椀を作ることもしている。その原木の展示もしてくれるそうだ。漆にとりつかれ、漆に向かっていったのに違いない。そのことに僕も惚れて、彼を見ているのかもしれない。今回、特にくりぬぎの花器は良い。椀は軽くておもしろいと思う。また、挽く人のいなくなった大盤のロクロを使った大盆は魅力的である。ぜひ見に来て下さい。

2020.3.14 高橋台一

## うつわ 菜の花

小田原市南町1-3-12  
電話 0465-24-7020

小田原駅東口より箱根方面へ  
向かうバス利用  
[箱根口]バス停下車徒歩2分  
セブンイレブン向かい側



